

わくわく橘っ子

人権教育便り No7 令和6年7月



～「阿南市小学校・人権かるた」とは？～

人権かるたは、阿南市で約10年前に各小学校の児童が言葉と絵を考え、作成されました。橘小学校の児童が考えたかるたも選ばれています。(右のかるたです。)

それぞれの読み札の後ろには、当時の学習で学んだことが記されています。先輩たちが「あらゆる差別をなくしたい。」との思いで作ったかるたを通して、子どもたちの人権意識をしっかりと育てていきたいと思えます。橘小学校でも、6月を人権かるた取り月間とし、各クラスで何度も対戦しながら、人権かるたに記されている様々な人権課題について考えました。



～阿南市人権かるた取り交流会がありました～

人権かるた取り交流会が今年度は桑野小学校でありました。3区は、山口小、桑野小、橘小、新野小、新野東小学校の5校の代表選手が集まり、他校の小学生とかるた取りを通して交流しました。

橘小学校の代表選手2名も、新野東小、桑野小、新野小の学校の児童と対戦し、奮闘しました。好きなかるたを一人ずつ発表したときも、堂々とした態度が光っていました。保護者の皆様、送迎と応援、ありがとうございました。

～代表選手2名の好きなかるた～

3年 瀧 結真里さん

「私の好きな札は、『世界につながるみんなの命大切に』です。理由は、ご先祖様の誰か一人でもいなかったら、今の私はいないので、受けついだ命を大切に生活していきたいです。」

5年 島尾 篤志さん

「ぼくの好きな札は、『レッドかな、ブルーかな、あなたはどんな色が好き？』です。理由は、誰もが自分らしく生きられる社会にしたいと思ったからです。」
礼儀正しく、堂々と参加した2名です。

